

## 令和7年度 東京都立王子総合高等学校 学校経営計画

## I 目指す学校

## (1) 王総ブランド(特色・魅力)をブラッシュアップし続ける学校

総合学科で学びたい、総合学科の中でも王子総合で学びたい、という希望をもって入学した在校生、受検する中学生、それぞれの保護者の期待に応えるため、「王総ブランド」を常にブラッシュアップする。

## (2) キャリア教育で「Design Your Dream」を具現化する学校

総合学科として、1年「産業者社会と人間」、2年「総合的な探究の時間」、3年「課題研究」を通して、3年間の学びをストーリー化し、自らの進路を自らの言葉で、将来に希望をもって語る生徒を育成する。

## (3) 時代を先取りした先進的な取り組みを積極的に行い、生徒、教職員の意識をアップデートする学校

文科省 DX ハイスクールプロフェッショナル型策択校、英検全員受検、海外修学旅行、エンジョイスポーツプロジェクト、職員室改善事業(フリーアトレス化)、民間コンサルティング事業などに各プロジェクトチームを核として取り組む。

## (4) 生徒、教職員、保護者、受検生、地域から愛される学校

校長としてのビジョンは、「生徒、教職員、受検生、保護者、卒業生、地域から愛される学校をつくること」である。そのためには、①生徒と教職員のウェルビーイング(個人が肉体的、精神的、社会的に満たされた状態)、②保護者の信頼、満足感、③中学生の憧れ、④卒業生、地域の応援したい気持ちを高める学校経営を組織的に行う。

## II 中期的目標と方策

## (1) 未来につながる都立高校としての学校経営

次期学習指導要領を見据え、「東京都教育施策大綱」「東京都教育ビジョン(第5次)」を具現化する学校経営を行い、Tokyo スマート・スクール・プロジェクト(学び方・教え方・働き方の三大改革)実現を目指す。

## (2) 総合学科としての魅力や特色を生かした教育活動

総合学科として、文系・理系に縛られない STEAM 教育や、幅広い教養が得られるリベラルアーツ教育を可能とする強みや、DX ハイスクールプロフェッショナル型採択校や海外学校間交流推進校として、デジタル活用や DX を身に付け、グローバルな視野をもつ人材の育成を目指す。

## (3) 見える学力を伸ばし、見えない学力や潜在能力(ポテンシャル)を引き出す教育

3年間の系統的キャリア教育の目標である「生徒の夢の実現」に必要な「見える学力」「見えない学力」を相乗的に伸ばす。段階的に「授業改革」を行い、全教職員が一斉授業の知識注入型教育、「正解主義」「同調圧力」から脱却し、生徒の主体性を重視した教育活動を、全教職員が自らマネジメントして実践する。

## (4) 卒業後、成人として社会に求められる人材となるような人間性の涵養

「外に向かって挑戦する」経験を積ませ、自己理解、他者理解、コミュニケーション力、探究心、課題解決能力を高めさせる。卒業時まで、グローバルな視野、デジタル活用能力、主権者意識、民主主義や納税の理解、人権尊重や多様性の理解、健康な生活への知識・理解を身に付けさせ、18歳成人として恥ずかしくない、心豊かな人間性を育ませ、社会へ送り出す。

## III 今年度の取組目標と方策

5 つの目標(5★ Five Star) 

- ① 生徒の主体性を育む教育活動をマネジメントする。
- ② 授業改革(探究学習、デジタル活用、プレゼン力、資格・検定等)に取り組む。
- ③ キャリア教育・進路指導を見える化・意識化・分析し、第一志望進路実現につなげる。
- ④ 生徒の心のケア、見守り、マナー・ルール指導に組織的に取り組む。
- ⑤ 全教職員が校務の効率化を図り、ライフワークバランスを実現する。

(1) 教育活動の目標と方策

| 今年度の目標                                   | 具 体 的 な 方 策                                                                        |
|------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 生徒の主体性を育む教育活動をマネジメントする                 | ① 各分掌、年次、教科は生徒の主体性を育成するためのマネジメントを実践する。                                             |
|                                          | ② 授業では生徒が主体となるアクティブラーニング、探究活動、発表を増やす。                                              |
|                                          | ③ HR、学校行事、部活動、生徒会、委員会は、リーダーを育成し、委ねる。                                               |
|                                          | ④ 学校行事、部活動、生徒会、委員会は、縦割り組織やマネジメント経験を積ませる。                                           |
|                                          | ⑤ 三人行事は、失敗を恐れず生徒主体とし、最後までやり抜くよう指導する。                                               |
|                                          | ⑥ 生徒の主体的取り組みは、HP、インスタグラム、学校通信などでPRする。                                              |
|                                          | ⑦ 生徒会や部活動は、ボランティア活動や地域貢献に積極的に取り組む。                                                 |
| 2 授業改革（探究学習、デジタル活用、プレゼン力、資格・検定）に取り組む     | ① 総合学科の特色・魅力である授業をブラッシュアップする。                                                      |
|                                          | ② カリキュラム・マネジメントを意識した教育課程と評価を検討する。                                                  |
|                                          | ③ 各教科は生徒向けルーブリックと明確な評価基準を全科目で作成する。                                                 |
|                                          | ④ わかりやすく具体的なシラバス作成、履修相談・履修登録方法を改善する。                                               |
|                                          | ⑤ 全教科で探究的な見方・考え方を取り入れた学び方、教え方を実践する。                                                |
|                                          | ⑥ チョーク&トーク授業から脱却し、探究的、協働的、個別最適な授業を展開する。                                            |
|                                          | ⑦ デジタル活用やプレゼン力を育成し、PC 端末を効果的に授業で活用する。                                              |
|                                          | ⑧ オンライン学習デーに限らず、いつでも双方向オンライン授業を可能とする。                                              |
|                                          | ⑨ 英検全員受検をはじめ、各教科、担当教員は資格・検定合格を支援する。                                                |
|                                          | ⑩ DXハイスクールとして、理数、AI、データサイエンスへの関心を高め、新規講座を開設する。                                     |
|                                          | ⑪ 自己研鑽、人材育成のため、授業見学4回、若手授業2回、校外研修1回を実践する。                                          |
|                                          | ⑫ 校務支援システム、採点システム、教育ダッシュボードを活用したエビデンスに基づくと考察を導く。                                   |
| 3 キャリア教育・進路指導を見える化・意識化、分析し、第一志望進路実現につなげる | ① キャリアデザイン部は、1年産社、2年探究、3年課題研究を系統的にまとめたリーフレットを作成し、校内研修で共通理解し、全教職員が在校生、中学生に語れるようにする。 |
|                                          | ② キャリア教育の実践をキャリアパスポートやキャリア通信で、見える化・意識化し浸透・PRする。                                    |
|                                          | ③ 中学校出前授業で「産業社会と人間」のPR回数を増やし、総合学科理解につなげる。                                          |
|                                          | ④ 学校説明会では授業や生徒のインタビューを動画紹介し生徒の様子を多く伝える。                                            |
|                                          | ⑤ NPOや教育関連企業との連携を見える化し、校内研修依頼やアウトソーシングを進める。                                        |
|                                          | ⑥ キャリアデザイン部は年次と連携し、定期的に生徒・保護者に進路希望調査を実施し、結果一覧、各種分析結果を見える化・意識化する。                   |
|                                          | ⑦ キャリアデザイン部は模試の結果を、Excelデータでの保存、業者による生徒、保護者、教職員への分析会実施、解説などを見える化し、5教科は必ず教科会で話し合う。  |
| 4 生徒の心のケアや見守り、マナー・ルール指導に組織的に取り組む         | ① 東京都教育ビジョン「誰一人取り残さない」方針に従い、生徒指導や生徒支援を行う。                                          |
|                                          | ② 配慮が必要な生徒を全教職員が情報共有して見守る体制や個別支援会議を行う。                                             |
|                                          | ③ 身だしなみ、ヘルメット着用、遅刻指導は全教職員が同一歩調で指導する。                                               |
|                                          | ④ 生徒からの要望は対話を大切にし、生徒の要望を吸い上げ必ず検討する場を持つ。                                            |
|                                          | ⑤ いじめを見逃さず、絶対に許さない姿勢を全教職員が認識し、組織的に対応する。                                            |
|                                          | ⑥ 教職員による体罰、不適切な言動0を目指し、未然に防ぐよう、全教職員で取り組む。                                          |
|                                          | ⑦ 学校が安全・安心な場所となるよう、全教職員で日頃からリスク管理を徹底する。                                            |
| 5 全教職員が校務の効率化を図り、ライフワークバランスを実現する         | ① ライフワークバランス(生活と仕事の両立)のため、部活動顧問の負担軽減を目指す。                                          |
|                                          | ② 仕事のムダ・ムラをなくした上で、教職員の仕事を平準化する。                                                    |
|                                          | ③ 校務には必ずメインとサブを配置し、ミス防止、引継ぎ軽減、OJT、効率化を図る。                                          |
|                                          | ④ 職員室フリーアドレス化に向け、従来の壁、物、紙を減らし、職場の風通しをよくし、仕事の効率化や意識改革を図る。民間コンサルと連携し校務改善をスムーズに図る。    |
|                                          | ⑤ 年休・夏休消化、テレワーク活用、定時退勤を心がけ、時間外勤務意識する。                                              |
|                                          | ⑥ 校長が発行する時間外勤務時間の推移を意識し、ライフワークバランスを実現する。                                           |

## (2) 重点目標と数値目標

|            | 重点目標                                                                                                                               | 予定、手だて                                                                                                                                                                                            | 数値目標                                                                                                                      |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学習指導       | ① 授業満足度 UP<br>② 授業計画・ルーブリック作成<br>③ 各種検定合格率アップ<br>④ デジタル活用推進                                                                        | ① 生徒による授業評価2回実施、分析<br>② 7月末までに全科目完成、提出<br>③ 傾向と対策指導、サマーゼミ、全員受検<br>④ 端末使用授業見学、Teams、スタサポ活用事例公表                                                                                                     | ・肯定意見80%以上<br>・提出率100%<br>・各種2級合格者 50 名以上<br>・肯定意見80%以上                                                                   |
| 進路指導       | ① キャリア教育の見える化<br>② サマーゼミ講座充実、参加増<br>③ 進路希望調査年3回実施<br>④ 模試分析会2回以上<br>⑤ 進路指導満足度 UP<br>⑥ 「キャリア通信」毎月発行                                 | ① リーフレット作成、校内研修(NPO 連携)<br>② 生徒実態把握、授業課題、学習ログ分析<br>③ データを見える化、分析し意識化、共有<br>④ 職会 B で2回、生徒は各年次2回以上<br>⑤ 生徒による進路指導評価 2 回、分析<br>⑥ 産社、探究、課研の生徒活動に見える化                                                  | ・9月完成、2回実施<br>・平均学習時間 1 時間以上<br>・3回実施、分析<br>・2 回実施、分析<br>・肯定意見80%以上<br>・毎月発行、HP 掲載                                        |
| 生活指導・特別活動等 | ① 全員揃う SHR<br>② 身だしなみ良好者増<br>ヘルメット着用、事故0<br>③ 生徒指導満足度 UP<br>④ 部活動加入率<br>⑤ 生徒会・委員会活性化<br>⑥ 三大祭の成功<br>⑦ 地域ボランティア活性化<br>⑧ 校内ビブリオバトル開催 | ① 遅刻常習者への指導徹底<br>② 生徒部、年次の連携、全教職員の指導<br>生徒部、プロパーによる朝の正門指導<br>③ 生徒による生徒指導評価 2 回、分析<br>④ 部活動紹介、体験部活動による PR<br>⑤ 生徒主体の定例会、生徒総会の充実<br>⑥ 体育祭、桜橙祭、合唱祭は生徒主体運営<br>⑦ 生徒会、部活動による積極的取り組み<br>⑧ 図書委員会と総務国際部が主催 | ・クラス1日1名以下<br>・継続違反者0<br>・着用 100%、事故0<br>・肯定意見80%以上<br>・部活動加入率85%<br>・定例会年 3 回以上<br>・満足度 80%以上<br>・10 回以上参加<br>・10 名以上の応募 |
| 募集・広報      | ① 戦略的な募集対策<br>校外説明会への積極的参加<br>② HP,SNS の更新、学校通信<br>③ 学校説明会生徒活躍                                                                     | ① 新入生・保護者アンケート、母校訪問、体験<br>部活動、中学校説明会、出前授業等<br>② HP,SNS 更新はリアルタイム、通信発行<br>③ オープニング、生徒会長挨拶、広報委員受付                                                                                                   | ・中学説明会 10 校<br>校内7回、校外5回<br>・更新 500 回、10 号<br>・推薦2. 6 倍、学力 1.4 倍                                                          |
| 国際交流       | ① 韓国研修旅行、成功<br>② オンライン交流増<br>③ 姉妹校、留学生もてなし<br>④ 都主催国際交流参加者増                                                                        | ① 少数のため事前指導を徹底的に行う<br>② 姉妹校との交流を 3 回以上実施する<br>③ 海外交流委員会中心にイベントを企画<br>④ 事前説明会を開催し、説明、支援する                                                                                                          | ・事前指導3回以上<br>・姉妹校交流3回以上<br>・満足度100%<br>・参加者25名以上                                                                          |
| 外部連携       | ① DX ハイスクールの取組み<br>② 理系チューター配置<br>③ NPO Fora と連携<br>④ 学運協、防推協との連携                                                                  | ① 大正大学、PMI 日本支部との連携強化<br>② 授業後の理系科目指導<br>③ キャリア教育支援、校内研修主催など<br>④ 提言・支援、防災訓練など                                                                                                                    | ・連携5回以上<br>・50時間以上<br>・校内研修2回<br>・年間3回、年間2回                                                                               |
| 環境美化       | ① 校内美化と清掃意識向上<br>② 掲示物の刷新と充実<br>③ 花咲くプランター維持<br>④ 職員室改善に向けた取組み                                                                     | ① ゴミや散らかりのない校内美化を維持継続<br>② 生徒の活動を発表、担当エリアの点検<br>③ 西巣鴨花屋とコラボ、花咲く学校継続<br>④ コンセンサスを得た計画を実行、意識改革                                                                                                      | ・肯定意見80%以上<br>・肯定意見80%以上<br>・肯定意見80%以上<br>・肯定意見80%以上                                                                      |
| 働き方改革      | ① 年休・夏休取得率 UP<br>② 時間外勤務45時間超え減<br>③ 長期休業中計画的レワーク<br>④ 部活動指導員単独指導増<br>⑤ 仕事のムダ・ムラを減らす<br>⑥ 定時退勤デー推進                                 | ① 昨年度年休15日以上取得率54%を上回る<br>② メリハリのあるライフワークバランス推進<br>③ 校内体制に支障がない範囲で計画的取得<br>④ 部活動指導員配置の意義を理解した活動<br>⑤ 働き方改革 PT アンケート結果の検討<br>⑥ 各自で定時退勤デーを計画的に実行                                                    | ・年休15日取得100%<br>・昨年度19名→10名以内<br>・昨年度43%→100%<br>・単独指導率100%<br>・2回実施回答率100%<br>・定時退勤デー実行100%                              |
| 経営企画室      | ① 予算執行率 UP<br>② 適正な業者選定、事務処理<br>③ 校内補修、危険個所の点検<br>④ 丁寧な来客・電話対応                                                                     | ① 予算ヒアリング徹底、全教職員が執行に協力<br>② コンプライアンス重視、複数による点検<br>③ 校内点検、責任箇所の報連相を確実に<br>④ 学校の顔としての対応、確実な伝達                                                                                                       | ・予算執行率100%<br>・不正0、ミス0<br>・危険箇所報告漏れ0<br>・肯定意見80%以上                                                                        |